

まほろばホールで開催中の「佐藤忠良展」を観てきました。
大和町町政施行 70 周年を記念して開催されている企画です。

佐藤忠良さんは、大和町出身の彫刻家。
私が初めてその作品に出会ったのは、学生の頃、宮城県美術館でのことでした。あれから 30 年以上——まさか大和町で、再びその作品に出会えるとは思いませんでした。

丸みを帯びたやさしいフォルム、どこか首をかしげたような姿勢、そして今にも駆けだしていきそうな子どもたちの姿。
そこには、何気ない日常の一瞬を切り取ったようなあたたかさがあり、見ているだけで穏やかな気持ちになります。

そして、このホールのすぐ隣に、私たちハローワーク大和があります。

玄関の自動ドアを一枚くぐると、企業情報やセミナー案内が掲示されています。
なかでも、スタッフが実際に事業所を訪問し、撮影・編集した「画像情報」は、求人票だけでは伝わりにくい、働く人の様子や職場の空気感をお届けするための取り組みです。

また、企業の担当者から直接お話をうかがえる「会社説明会」も随時開催しています。
説明動画をご用意いただいたり、取り扱っている商品を実際に持参されたりと、工夫をこらして参加される企業も多くあります。

風がさわやかな季節となりました。

まほろばホールを訪れたその足で、ハローワークの情報コーナーものぞいてみませんか？
皆さまのご利用をお待ちしております。

